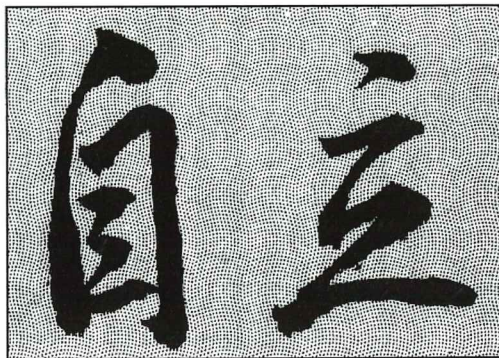




2025 年 7 月 発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行・編集責任者

白 江 浩

編 集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976 年 2 月 25 日 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)
2025 年 7 月 11 日 発行 SSKO 通巻 11945 号

第 36 回ありのまま生活福祉講座



6 月 7 日(土)、仙台 AER の中小企業活性化センター多目的ホールにて「第 36 回ありのまま生活福祉講座」が開催されました。遠方から足を運んでいただいた方もおられ、約 60 名の方にご出席いただきました。

座長の彬子女王殿下には毎年御臨席を賜り、おことばを賜りました。講師として、座長から御推薦をいただいた京都産業大学文化学部教授・日本文化研究所長の小林一彦様より、「いきるということー西行法師・鴨長明・大西良慶和上の歌からー」と題し、三人の方が作った歌をご紹介いただき、時代背景や文化、歌の意味を大変分かりやすくご説明いただきました。

またバイオリニストで元パラリンピック水泳日本代表の伊藤真波様より「あきらめない心」と題し御講話をいただきました。交通事故で右腕を失いながらも、義手を使い看護師となり、リハビリで始めた水泳ではパラリンピック選手として活躍され、現在は義手を使用してバイオリニスト



第 36 回ありのまま生活福祉講座

トとして活動されておられます。事故当時のことや子育ての様子などありのままの体験をお話いただきました。

会場の皆様から「小林先生の話が分かりやすく現在も昔も生きることは同じだと思いました。」「伊藤さんの前向きな姿勢、生き方に感動しました。」「心に響いて涙が止まりませんでした。」と沢山のご感想をいただきました。

薫る風

「第 36 回ありのまま生活福祉講座」が、座長の彬子女王殿下ご臨席の下、無事終えることができた。参加者のアンケートを見る限り、講義内容はご満足頂けたと思う。私自身も大変学ぶことが多く、ふたりの講師には心から感謝申し上げたい。なぜ「講座」か。文字通り、「体系的」に「継続して」聴講頂くことを目指している。では「何を」か。福祉は特別な話ではなく、身近で生活の一部のことであり、日本の文化となることを目指している。日常の「普通の」生活の中に文化として定着させたいと願っている。だからこそ継続し、続けること、そしてできるだけ参加者も継続して聴講頂きたいの思いから、福祉講座会員制度をとっている。むしろ、一回だけの参加も大歓迎だが、多くの方は継続して頂いている。少し宣伝させて頂ければ、会員になると講義の「抄録」と座長の「おしるし」の入った「受講ノート(押印)」込みで、単発で一回のみの受講料と同じでもお得だと思う。しかも定員は一〇〇名と限定させて頂いている。また、当初は一日ではなく、数日にわたって行っていた。故寛仁親王殿下と当舎の山田三兄弟の思いが、形になったものだ。そのようにして始まり進化してきた。座長が彬子女王殿下になつてからは、文化として定着させたいという思いは、より鮮明にそのねらいが見えるようになったと感じている。座長推薦とありのまま舎推薦の二人の講師と、五年ごとに座長が直接お話し頂く機会も得られるようになり、継続性、一貫性も増してきた。一方課題としては、会員層、人数が固定してきていることだ。一回だけの参加の層も同様で、もっと幅広い方にご参加いただける努力が足りない。会員や参加者の方から今年も「もったいない」とのお言葉を頂いた。(白江浩)

彬子女王殿下おことば



本日ここに第 36 回ありのまま生活福祉講座が開催され、皆様にお目にかかれまことを大変嬉しく思います。

ありのまま生活福祉講座の座長をお引き受けて、今年で十年となりました。途中にコロナ禍での中断がありましたので、10 回はまだ数えておりませんが、節目の年を迎えましたことに感慨深い思いがいたします。座長のお話をいただきました時、「私は社会福祉は専門ではないので務まりません。」と何度もお断りを致しました。でも、現理事長の白江さんが講座を福祉と文化の二本柱にすると言われました。「自分たちは社会福祉を特別なものではなく、当たり前の日常に根付くものと考えている。彬子さまが取り組んでおられる日本文化を生活の中に取り入れるきっかけづくりをするという活動と通じるものがある

と思います。」と。なるほどと思うところがございました。

父は「100%の障害者も100%の健常者もない」がモットーであり、たとえ障害があつたとしても、自立のために真摯な努力を積み重ねている方たちに対して支援を惜しまない方でした。そして、障害のあるなしに関係なく、何事にも真剣に向き合い、議論をし、知り、学ぶことが大切だと考えておられました。福祉と文化を当たり前のものとして共に学ぶということの意味があることではないかと思うに至り、毎年私もこの講座を通して新しいことを勉強させていただいております。

本日講師をお務めいただく小林一彦先生は、私が勤務しております京都産業大学の直属の上司にあたります。日本文化や古典文学のことは、小林先生に伺ったらすぐにお答えを返してくださるので、先生は生成 AI なのではないかと思う時もございます。以前、百人一首のお話をしておりました時に先生が「世界広しと言えども、千年以上前の人が読んだボエム、和歌のことですけれども、それをばらして、覚えて、ゲームとして伝えてきた国は日本くらいだと思えますよ。」と言われ、百人一首の意義と意味、日本人の伝える力の強さが急に実感できたことが

ありました。

先生のお話はずっと聞いていたくなるくらい私も大好きなので、今日も皆様と一緒にお伺いできますことを大変楽しみにしております。

本講座が「福祉だ。文化だ。」と声高に叫ばずとも、当たり前に日常の中にある未来を作るきっかけとなつていきますことを祈りつつ、私よりのご挨拶いたします。

伊藤真波氏

「あきらめない心」



看護師を志し通学中に交通事故に遭い、右腕を失うという衝撃的な経験を具体的なエピソードとともにお話くださいました。事故後の壮絶な治療とリハビリ、そして義手を製作し看護師として復帰され、リハビリで始めた水泳ではパラリンピック日本代表として活躍されました。ご結

婚後は 3 人のお子さんに恵まれ母親として様々な葛藤を経験されながら奮闘されておられます。「事故から 20 年経ちました。まだまだ隠れたい日があります。逃げたい日があります。でも、この腕にたくさんの方を教えてもらいました。障害の有無にかかわらず、人には言えない心の傷を何かしら持つていること、人に言えない過去、ご近所問題、ご自身の病気のことで、子供のことで、職場でのこと、大事な人を失った傷。でも決して皆さん、それを大きな口では言いません。それを知った時、私は悲劇のヒロインを演じるのはやめようと決めました。誰もが何かしら傷を持ちながらも前を向いている。だから私も前を向こうと思いたした。」とお話をいただきました。伊藤さんは常に笑顔で過ごしているの印象的でした。その笑顔には深い意味があることを教えていただきました。

【カラー印刷について】

5 月号をカラー印刷にしたところ皆様から大変ご好評のメッセージをいただきました。カラーの場合、印刷代が増え、毎月は難しいですが、主要なイベントを紹介する時はカラー印刷を続けていきたいと思います。皆様にぜひ楽しくお読みいただければと思います。



山田かざとり眼科

022-748-7657

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00~17:00	○	手術	○	○	○	休診	休診

診療に関するお問い合わせや当院に関するご質問、ご要望などお気軽にお問合せください

〒982-0818 宮城県仙台市太白区山田新町 82
(K's ケーズデンキ仙台太白店そば)

小林一彦氏
「いきなりいつごと
—西行法師・鴨長明・大西良
慶和上の歌から—」



京都産業大学文化学部教授、
日本文化研究所長を務めておられ、ご専門は日本古典文学です。
様々な学会の理事や委員を歴任され、また新聞や雑誌のコラムの執筆、テレビやラジオにご出演され古典の魅力を分かりやすく発信されておられます。
ご講演では、清水寺の初代官長だった大西良慶和上、僧侶・歌人であった西行、歌人・随筆家であった鴨長明の歌を各時代背景や詩の中に込められた風景思いを分かりやすく説明いただきました。三人とも生きた時代は違っても月や花、水などの歌、弱いものに対する歌、孤独の寂しさ、人間の弱さを詠んだ歌など共通するものがあると言います。またありのまま舎創設

者の山田秀人さんの作品が収められている詩集「車椅子の青春」にも触れられ、感性を持った言葉の力についてもお話いただきました。

「生きるといふことはどういうことなのか。私自身、本当に凡人です。西行さんや長明さん、大西良慶和上さんの力を借りながら、先人の人たちの言っていることはとても心に沁みるものがあることを感じざるを得ないです。」とお話をいただきました。小林先生の優しい語りが印象的で、和歌という短い文字の中に込められた言葉の力を改めて知ることができました。

座長の彬子女王殿下に御臨席賜り、伊藤真波様、小林一彦様にご講演を賜り開催できましたことに心より感謝申し上げます。福祉は特別のものではなく生活の中に当たり前に存在し、社会に根付いていくことができるように、これからも生活福祉講座を継続していきたいと思えます。

福祉講座会員にご入会いただくと毎年講演の抄録をお送りさせていただきます。講演内容の詳細をお読みになりたい方、記録として残しておきたい方は会員入会がお勧めです。

022 (243) 1300

お問合せ

【ホームケア仙台ありのまま舎
リビングセンター】

6月に新しい入居者が入居されました。市営住宅でひとり暮らしをしていましたが、進行性の難病を患い、転倒が続いたため、自宅に戻りたい希望はあったものの、環境が整わず介護保険でショートステイを利用されていた。料理がしたいという面談をして最初にお話しされた言葉でした。元々、料理が趣味で自宅にはこだわりの調味料や調理器具が揃っていたこと、上半身は自由に動くので車椅子に移乗すれば身の回りのことは自分で行えることなどヒントが沢山ありました。

【サポートケア仙台ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】
当事業所は仙台市にお住いの障害福祉サービスをご利用になつていらっしゃる方に業務を行っています。他の業界と同様に、世の中の動きに合わせて障害福祉の分野も色々な変化があります。

地域生活支援事業という、各市町村独自に地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により計画的に行う障害福祉サービスがあります。その事業の中の訪問入浴について、仙台市から当事業所にお知らせがありました。毎月7回まで利用でき、その上で年8回上乗せ（最大月9回まで）ができていたものが、令和7年4月から毎月9回利用できるようになりました。ご自宅に入浴することが難しい方にとって訪問入浴は非常に良いサービスで、その回数が増えることで、ご本人が衛生的かつ気持ちよくなれると共にご家族の負担も軽減されます。携わっている方に連絡し、早速ご利用頂いている方もいらつしやいます。

皆さんのご希望に寄り添いつつ、ご要望を叶えることができるように、そして既存・新しい福祉サービスは当然のこと、地域にある資源を見つけ情報提供する等、変化に乗り遅れないように、皆様が住み慣れた場所です安心して過ごすことができるように努めていきます。

（相澤誠一）

オフィスを進化させ、
ビジネスライフを快適にする

オフィス・オートメーション & オフィス・アメニティ

OA & OA 赤井沢

取扱商品事務用品

文具／ファンシーグッズ／教育用品

ホビー用品／典札用品／贈答用品／カラー複写機・複合機

コンピュータ／プリンタ／印刷機／電話機／スチール家具 ほか

□本社営業部 仙台市太白区長町五丁目3-3

TEL249-2121 FAX249-2128

□長町店 TEL247-8848

□大和町店 TEL238-0543

【仙台市基幹相談支援センター】

仙台市障害者基幹センターの

板橋です。学生時代に過ごした泉区に通う日々。通勤で歩く公園では紅葉に癒され、雪道を歩けばその積雪に驚き、満開の桜の向こうに見える空は青く深く、ツツジは一斉に咲きこぼれ思わず足を止めてしまうほど。昨今は日傘にお世話になってます。

私たちは仙台市内の障害者相談支援事業に携わる相談員さんを対象とした支援者支援を行なっています。その一環として合同事例検討会を開催しています。アセスメント能力の向上を図るため、医師やソーシャルワーカーをスーパーバイザーとして事例検討を行います。この事例検討ではアセスメントより得られた情報を根拠に、本人の人物像、家族像、影響していると考えられる事柄を推察、それらを踏まえ、どのような経過を辿り、本人が現在の状況に至ったか、仮説を立てる作業を行います。会場にいる人の数だけアセスメントの視点や捉え方・考え方があります。自分にはない視点や捉え方に気づき自身の支援に取り入れるきっかけとなるよう、また情報を根拠に推察する力を向上する機会となるよう、ブラッシュアップしながら今年も頑張ります。

(板橋政江)

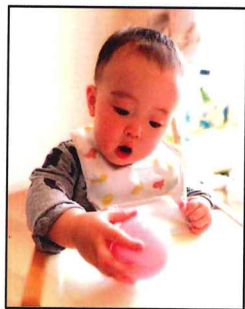
茂庭台エリア

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

梅雨入りしたのもつかの間、暑い日が続いていますね。年々暑さが強まり、今年は温暖化の進行に加え、ラニーニャ現象の影響が重なり全国的に平年よりも気温が高くなると予想されています。そのため、体温調節が未熟な子どもたちは、風邪症状はありませんが発熱したりと体調を崩しがちです。

また、子どもは大人より体重あたりの水分の比率が高く、体から出ていく水分の比率が大人の約二倍。子どもは脱水状態になりやすいので適切な水分補給が必要です。汗をかくと、水分だけでなくイオンなども同時に失われます。水だけでは水分補給には足りないため、麦茶を飲むようにしています。子どもたちはまだ少し苦手な様子。子ども用のイオン飲料等も飲みますが、それも苦手という子もいます。そんな時は牛乳がお勧めです。牛乳には三大栄養素の他にビタミンやミネラルも豊富。飲み過ぎは注意ですが、血液や筋肉を作り、脱水症状に強い体を作ってくれます。保育園

でも、牛乳は喜んでごくごく飲んでいきます。今年の夏も上手に水分補給をしながら楽しく過ごしていきたいと思っています。(春日麻里)



お友だちと触れ合うことを喜び、仲の良く遊ぶ子どもたちです。



【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【栄養マネジメント】

この数か月、ありのまま保育園の献立作成を担当しました。普段子供と触れ合う機会がなく、初めは「乳幼児ってどのくらい大ききだっけ？何食べれるの？」と具体的にイメージがつきませんでした。そこで一度保育園にお邪魔して、子供たちが食べているところを見させてもらいました。同じ月齢でも歯の生える速さが違ったり、自分でスプーンを持つことが出来る子もいれば出来ない子もいたり発達には個人差が大きいと感じました。まだはつきりと言葉に出来ない子が多かったですが、苦手な野菜は食べようとしたり、酸っぱい果物は顔をしかめていたりして、様々な反応で好き嫌いを教えてくれました。乳幼児は成長のスピードが速く、食べられる食材も量も日に日に増えていきます。子供たちの変化を見逃さないよう、先生方と連携しながら、成長に合わせた食事を考えなければいけないと学びました。

毎回様子を見に行くことは出来ませんがたまに玄関先に顔を出してくれる時、成長している姿に驚き嬉しく思います。これからも食べてくれる子供たちの顔を思い浮かべながら、給食を作っていきたいです。(佐藤星)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎】

【難病・障害者相談支援センター】

今回のインタビュは、市外のスーパーにて障害者雇用で働いているKさんにインタビュしました。Kさんは5月から妹さんとの二人暮らしを始めたばかりで新生活への不安も多い中ですが、快く応えてくれました。

①平日の一日の流れ

7時から出勤のことが多いので、5時には起きて身支度を整えて妹の分と一緒に朝食を作って食べます。ゴミ捨てなどをして6時半には自宅を出発します。シフトにもよりますが、お昼頃に仕事が終わるので、帰宅後は家事をしていることが多いです。

②好きなことや推しグッズ

Snow Manの目黒蓮が押しです！カッコいいですし、謙虚なところが好きです。CDは毎回買っていて特典を集めています。いつも聴いているので彼氏に怒られるほどです。

③これからの目標について

いつか彼氏と住めるように、親に頼らなくても自分で色々な事ができるようにしたいです。

仕事もプライベートも何事にも一生懸命に取り組まれているKさんを今後も応援していきたいと思っています。(熊谷経子)

亘理エリア

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】
【アクティヴィティケア】

生活介護を利用していた方が、亘理ありのまま舎への入居が決まった。Aさんは目が見えないが、一緒に活動する利用者の方やスタッフの声や名前をすぐに覚え、活動に取り組んでいた。音楽活動が好きで、音楽の活動をする、歌ったり、踊ったりと、楽しそうに活動していた。帰りの送迎時は、バス(迎えに来る?)と次の利用も楽しみにして下さっていた。

生活介護は、ご自宅から来舎される。日中のみの活動ではあるが、長期的にみると、将来の事を見据え「生活介護を利用して、慣れてきたらショートステイをやってみよう。」「将来は、入居を希望している。」という方もおられ、様々なニーズがある。



アクティヴィティケアでの体操の風景

【ありのまま舎ホームページ】

当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設紹介を掲載しています。出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご活用ください。



生活介護を利用し慣れる、次のステップへと段階的に将来の生活の場を決めていく、最初の場として生活介護は重要な場所だと感じている。

Aさんが、入居者として、日中活動を利用される。違ったメンバーや活動内容になってくる少しづつ慣れて欲しいと思う。今後もしめる活動を考え、活動に参加したい!と思えるよう努めていきたい。次のステップへと進んだAさん、「今後も歌って、踊って、楽しみたい!」

(押樽圭)

【サポートケア県南ありのまま舎】
【難病・障害者相談支援センター】

基本相談で当事業所を利用するAさんが以前から転居を希望していたのですが、今回隣町に住居が確保できたため転居することになりました。転居に向けて色々な手続きや準備をしなければいけないものがあり、Aさんは親類を頼ったりしながら準備を進めているところです。

数年前に転居を経験していましたが、その時は当時支援に携わっていた相談支援事業所が殆どの諸準備を手伝っていたためAさんが困る状況がなく当事業所に引継ぎを受けていました。

転居に伴う手続きにかかる複数の書類の作成や役所から入手しなければいけない書類の確認や準備、新たに購入する生活用品の準備などをAさんが関わる他の支援機関と協力しながら一緒にこなしています。できそうなことは経験として自分でやってみてほしいとの思いから説明書きを作成してご自身でやってみてもらいますが戸惑うことが多いようで、電話を頂いて確認を求める状況が度々ありますが、その都度不安を共有しながら説明と確認をしています。希望の実現までもう少しです。一緒にワクワクしたり少し困ったりしながら次の生活に向けての準備を進めていきます。

(齋藤栄樹)

【サポートケア亘理ありのまま舎】
【基本相談支援センター】

今年度第1回のピア活動を6月18日(水)に開催しました。当日は5名の当事者の方とボランティアの方に参加いただき、「グループホームや一人暮らしについて」をテーマに話し合いました。

ピア活動前に亘理町内のグループホーム2事業所に動画撮影の協力を仰ぎ、参加者と動画を観ながら意見交換を行いました。参加者からは「グループホームに関心があったので、いろいろな情報が聞けて良かった。」「毎月の生活費を考えるきっかけになった。」「生活するため何が出ないといけないか情報共有が図れた。」「等の感想をいただきました。

今回話し合ったグループホームや一人暮らしはあくまで選択肢の一つですが、今後グループホーム等の福祉サービスを検討している方がいましたら、先ずは身近な相談員に相談してみたいかがででしょうか。

併せて、次回以降のピア活動について「就労」と「余暇活動」をテーマに開催を予定しています。ピア活動が当事者の皆さんにとって大切な情報交換の場となるようにこれからもサポートしていききたいと思います。

(蒲生豊二)

【協力ありがとうございました(敬称略)】

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会、仙台ホサナ教会の皆様にご協力いただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様は、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

いつも会報のお手伝いいただき、誠にありがとうございます。皆様の温かいご協力のおかげで、作業も円滑に進み、とても頼りにしております。皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

(遠藤寿子)

社会福祉法人ありのまま舎 理事・監事・評議員・改選につきまして

任期満了に伴い、改選を行い新しい理事・監事・評議員が決定しました。

社会福祉法人ありのまま舎 21 期理事・監事

【任期】2025（令和 7）年 6 月 12 日～2026（令和 8）年度に関する定時評議員会終結時まで

理事長	白江 浩	社会福祉法人ありのまま舎	法人(施設長)
理事	大久保佳奈子	仙台市新田児童館 館長 川崎病の子どもを持つ親の会 宮城県連絡会代表	福祉(児童・難病)
理事	合田 隆史	尚絅学院大学名誉教授 (一社) 文教夢倶楽部 代表理事	学識(教育・大学名誉教授)
理事	雫石 理枝	一般社団法人宮城県介護福祉士会 会長	福祉(介護・高齢)
理事	菅原 富士子	NPO 法人宮城県患者・家族団体連絡協議会 理事 後縦靱帯骨化症友の会 事務局長	福祉(難病)
理事	内藤久実子	医師・医療法人社団静実会 理事長	学識(医療・医師)
理事	中野 竜河	弁護士	学識(法律・弁護士)
理事	二階堂晃棋	元株式会社日比谷花壇・障害当事者	福祉(障害者関係)
理事	八浪 英明	株式会社河北新報社 監査役	地域(マスメディア)
理事	北村美和子	東北大学災害科学国際研究所 特任研究員	学識(防災・福祉)

監事	小山 良就	元社会福祉法人共生福祉会 施設長	障害福祉事業経験者
監事	戸田 博雄	戸田博雄税理士事務所	税理士

社会福祉法人ありのまま舎 18 期評議員

【任期】2025（令和 7）年 6 月 12 日～2028（令和 10）年度に関する定時評議員会終結時まで

評議員	阿部 紀子	大谷地親和会 副会長・児童委員	地域(民生・児童委員)
評議員	井上 裕貴	東北電力宮城支店 地域共創本部(総括広報)統括部長	地域(公共企業)
評議員	岩城 彰	東北放送株式会社 常務取締役	マスメディア
評議員	岩城 敏夫	元亘理町教育委員会 教育長・利用者家族	元教育長・亘理
評議員	工藤 清美	教会員・ヴォランティア	地域(ヴォランティア)
評議員	鈴木 勇治	仙台市議会議員	地域(仙台市市議会議員)
評議員	西間木 順	東北学院榴ヶ岡高等学校教諭・牧師	学識(高校教師・牧師・ヴォランティア)
評議員	支倉 敦子	全国膠原病友の会宮城県支部 支部長・難病当事者	福祉(難病)
評議員	原田 誠	利用者家族・会社経営	家族(入居者家族)
評議員	平野 愛	医師・東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科	学識(医療・医師)
評議員	廣瀬 公慈	弁護士	学識(法律・弁護士)
評議員	渡邊加代子	名取市手をつなぐ育成会総務役員・利用者家族	家族(福祉団体・名取利用者家族)
評議員	鈴木 道子	尚絅学院大学 学長	学識(大学学長)
評議員	杉山 裕信	元 NPO 法人副代表(元条例の会代表)	地域(障害当事者・第三者委員)

ご指導宜しくお願い致します。

1976 年 2 月 25 日 第 3 種郵便物認可 (毎週 4 回月・火・木・金曜日発行)

スクラップ

2025(令和 7)6 月 8 日 (日)
河北新報朝刊掲載

仙台・ありのまま講座 「福祉や文化が 根付く未来に」

杉子さまあいさつ

第 36 回ありのまま生活福祉講座(ありのまま舎、河北新報社など主催)が 7 日、仙台市青葉区の市中小企業活性化センターで開かれ、市民約 60 人が参加した。講座の座長を務める三笠宮彬子さま(43)は「講座が、福祉や文化が日常に根付いた未来につながることを祈る」とあいさつされた。



講座の意義を話される彬子さま

の伊藤真波さんが「あきらめない心」と題し講演。看護学生だった 20 歳の時、交通事故で右腕を失ってからの日々を振り返った。当初は義手での生活の苦労を自分一人で抱えがちなったが、看護学校の教員の言葉をきっかけに「素直に助けを求め、生きやすい環境をつくらなければならぬ」と奮起。看護師となり、水泳などにも挑んだ。「障害の有無にかかわらず、人は皆、悩みや傷を持っていると思う。助け合える社会は大事だ」と訴えた。このほか、京都産業大学教授で同大日本文化研究所長の小林一彦さんが「いきる」ということ―西行法師・鴨長明・大西良慶和上の歌から―と題して講演した。



「支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書損じはがき等】
25 5/30 ~ 6/26

【バザー提供】
25 5/29 ~ 6/28

【シヨップ提供】
25 6/25

(栗原市) 有限会社アルコン
(川尻誠)

ありのまま舎後援会(敬称略)

25 5/27 ~ 6/24
【2025 年 個人会費】

【2025 年 賛助会費】
以上一口

後援会員として全国からご支援をいただきありがとうございます(佐藤環)

【自販機販売設置支援】
◆サントリービバレッジ

5 月分の売上の一部を寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,225 円
ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア
県南・亘理ありのまま舎)
6,395 円



【バザー開催日のご案内】
《2025 年 8 月》
5 日(火) ヨークベニマル鉤取店
7 日(木) ヨークマルシェ大和町店
12 日(火) ヨークベニマル南吉成店
14 日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
19 日(火) ヤマザワ茂庭店
26 日(火) 袋原(向日葵ライフ
サポートセンター)
28 日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
30 日(土) ありのままシヨップセル
(仙台ありのまま舎)